

# 寺報 得源寺



創刊号  
発行 = 真宗  
大谷派得源寺  
住職大橋友啓  
☎0767-68-2096

## 寺報の創刊に当って

住職 大橋友啓

皆さまには、ご健勝にてお過ごしのことと存じお慶び申し上げますとともに、平素のご無沙汰をお詫び申し上げます。

平成という時代も間もなく終わりを告げ、世の中は確実に変わろうとしています。寺の参り場も同じく変わってきました。真宗門徒は、伝統的にご先祖の法要をご縁として法の座が開かれ、その座に着くことで釈尊の教えに最も近い仏教（浄土の教え）を聴聞しそれを実践してきた歴史があります。

しかし、第二次世界大戦後の国策は、宗教的なものは排除し、特に教育現場では全く信仰心といったものを育むことがないまま今日にいたっています。

さらに、オウム事件は「宗教

は怖いもの」といったイメージを現代社会に浸透させて宗教離れに拍車をかけました。

でも、「合格祈願」や「七五三」といった神事は、むしろ盛んになっていく傾向にあります。これは、親から子に仏事を伝えるというシステムに障害が起きていたためで、若い世帯が抱える疑問を解決する先がネットやテレビでありSNSなどで得た情報に頼っているためで、テレビの「ぶっちゃけ寺」などで得た知識ですが、行動を起こせない現実があります。

特に、女性の意見が強い傾向にある若い世帯では、ママ友などの同世代と足並みを揃えなければならぬ見栄のようなものも混ざって仕方なく子どもの神事をやっているという現実もあるようです。

このような事態が起きていることは、真宗の寺院を預かる住職にとっては責任重大です。

「いつでもわからない事があれば聞いてください。」と言っても住職はどんな人か分からなければ聞くことも出来ません。

かつては、ご門徒さんと住職の親交を深め合うツールとして各家庭のご法事や毎年の報恩講で酒が振る舞われる「場」がありました。時代はそんな「場」さえ無くしてしまいました。

そこで、自分の手継ぎ寺の住職の人となりを知って貰うツールとしてここに「寺報」を創刊します。

年三回発行の予定です。ごく一方的な住職の言いたい放題になると思いますが、得源寺住職の今の姿勢だと思って読んでください。

皆さんが、私たちの宗派の作法だと思ってるようにしている仏事の殆どは他宗の作法だと思っただけがよいでしょう。

色々なご意見やご質問を溜めておいて、いつか吐き出しましょう。ご一報ください。

正しい教えに基づく正しい作法で日々の生活を送っていただきたいと思えます。

## 総代会を開催

（一月二十一日 月曜日）

東本願寺では、宗務・宗政に女性の参画を進める特別措置条例が一昨年度に施行されました。

そこで昨年の四月一日から大橋清志氏の任期満了に伴い、大橋幸子氏に門徒総代を引き受けていただき、吉村稔・大橋規男両氏と共に能登教区第十四組門徒会員に就いていただいています。

今年の総代会は午後二時から開催され、責任役員の新選承認と年中行事などを確認しました。

## 新役員（任期三年）

◆責任役員（2019-2022）

大橋友祥（第一号）

野崎 博（第二号）

◆総代（2018-2021）

吉村 稔・吉村 修

大橋規男・深田忠夫

大橋幸子

# お知らせ!!

(二〇一九年二月〜五月)

## 報恩講について

一月下旬から二月上旬にかけて毎年恒例のご門徒さん宅の報恩講が勤まります。日時については皆さんからご連絡をいただいております。都合の良い日に行っています。

☎六八―二〇九六

## 講座「真宗の葬儀」

どこの集落にもあった火葬場が使われなくなって、既に五〇年経ちました。それに伴って集落で継承されてきた葬儀や仏事

の習慣と作法がいつの間にか消え失せて拠り所のない自分勝手な解釈による葬儀や仏事がはびこっています。葬儀はそれでも終っていきませんが、ちよつと立ち止まって考えてみたい方を対象に「真宗の葬儀」という講座を開きます。

とき 二月二〇(水)・二一日(木) 午後八時〜九時半

ところ 得源寺

参加費 三〇〇円

## 春の祠堂経会

とき 三月二六日から二〇日

講師 上野寿弥氏

(吉田聞成寺住職)

## 春の彼岸会

とき 三月二一日 春分の日

午後二時お始まり

講師 上野寿弥氏

(吉田聞成寺住職)

## ブックシェア中

本堂の一角にブックシェア専用の野良本文庫があります。

みなさんのお手元に読んでしまつて野良犬同然の文庫本と新書本があつたら本棚に入れていただく。また、読んでみたい本があつたら持つて行ってください。くれぐれも文庫本と新書本にしてくださいネ。

## どうする切れた数珠

男物に限りますが、念珠の紐が切れてしまつて困っている方は、寺まで持つてきてください。直して差し上げます。

## 寺カフェ

毎月第二木曜日

午後二時から



## 教化冊子 真宗の生活を読む

(2〜3ページ)



「明日こそ幸せになるぞと言つて、いつも明日のための準備が今日であると生きていく人は死ぬまで幸せになる準備ばかりで終わる」(要訳)とフランスの哲学者パスカルがパンセという書物に書いてあるそうです。明日の準備ばかりで、空しく時を過ごしてしまつていませんか。

仏教は、空しく過ごす人生を問題にし、一瞬一日を大切に生きよと呼びかけます。

それは、現実を受け止めて生きることからはじまり、私の身の現実を引受け念仏して精一杯生きる時、おまかせするという生き方を賜り、生かされている間は精一杯、自分の役割を使命としてはたしていこうという意欲をいただくという事です。

(釈友啓)

△印章

## 今号の脳トレ

マッチ棒二本を動かして五つの正方形を四つにしてください。大きさは全て同じです。

※ 種明かしは次号。

(このコーナーは、寺カフェからの出題です。)

